

2024 年度 聖路加国際大学 看護学部 一般選抜 B 方式

# 小 論 文

受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_



問題は次のページから始まります。

次の文章を読んで、設問 1 ～ 3 に答えなさい。

図 1 は、日本人のがんによる死亡の人口寄与危険割合 (Population Attributable Fraction : PAF) を男女別にまとめたものである。

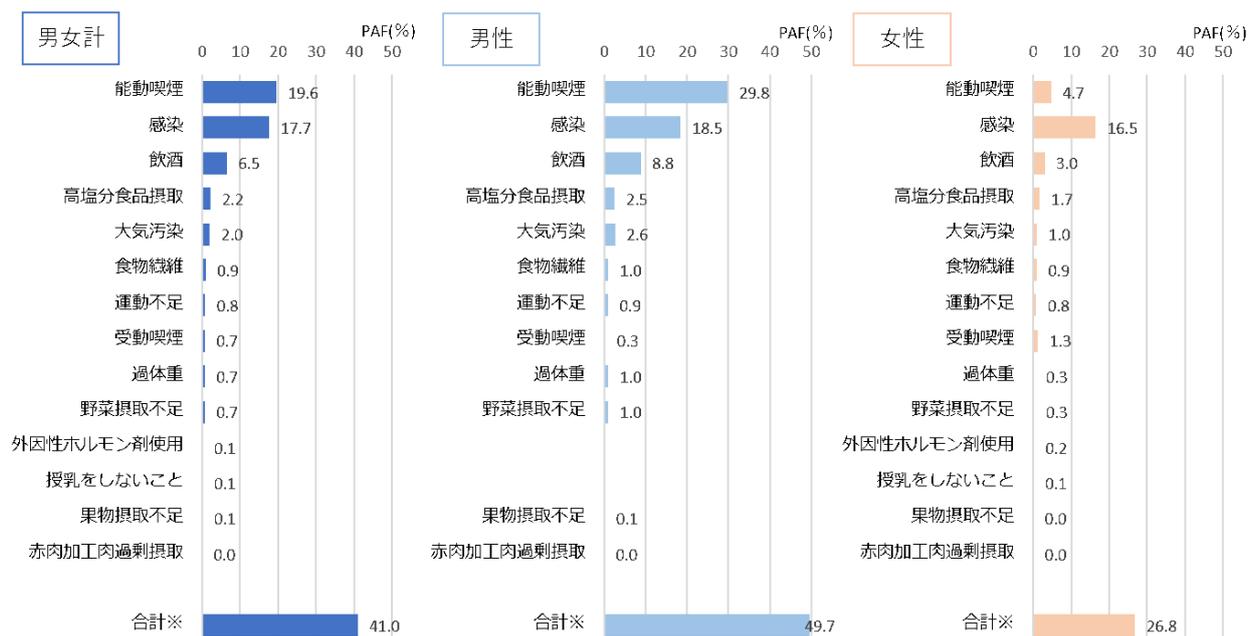
PAF とは、特定の集団において、ある要因が病気の発症や病気による死亡に寄与する割合を表すものであり、その要因を除去することで減らすことができる病気の発症や病気による死亡の割合を示している。たとえば、図 1 の男女計の能動喫煙の PAF は 19.6% なので、日本人の男女全員が能動喫煙をしなくなれば、がんによる死亡の 19.6% を減らすことができると考えられる。

PAF は、以下の式で計算することができる。

「集団における要因保有者の割合」とは、集団におけるある要因をもつ人の割合である。

「相対危険度」とは、ある要因を持つ人と持たない人の病気の発症や死亡のしやすさの比である。

$$PAF = \frac{(\text{集団における要因保有者の割合}) \times ((\text{相対危険度}) - 1)}{(\text{集団における要因保有者の割合}) \times ((\text{相対危険度}) - 1) + 1}$$



※組み合わせ影響調整

図 1. 日本における要因別がん死亡の PAF (%) (2015)

出典: 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所予防関連プロジェクト. 日本人におけるがんの原因の寄与度推計: 2015 年時点のがん罹患・死亡に対する推計. <https://epi.ncc.go.jp/paf/evaluation/9162.html>

設問1. 以下の文章は PAF の性質および図から読み取れることを記述したものである。文章中の①～④は以下の選択肢 A・B のいずれかの記号を記入しなさい。⑤～⑧は適切な用語や数値を記入しなさい。

PAF は (集団における要因保有者の割合) × ((相対危険度) - 1) の値が大きくなるほど、( ① ) なる。したがって相対危険度が高く、発症や死亡との関連が強い要因であったとしても、集団におけるその要因を持つ人の割合が少なければ、PAF は ( ② ) なる。相対危険度が低く、発症や死亡との関連が弱い要因であったとしても、その要因を持つ人の割合が ( ③ )、PAF は大きくなり、その集団におけるその要因の発症や死亡への影響力は ( ④ ) なる。

図1において、男性でがん死亡の PAF が最も大きい要因は ( ⑤ ) であり、女性では ( ⑥ ) である。PAF の合計は男性では ( ⑦ ) %、女性では ( ⑧ ) % であり、これらの要因を除去すれば、男性ではがんによる死亡を ( ⑦ ) %、女性では ( ⑧ ) % 減らすことができると期待される。

**【選択肢】**

- |   |         |          |
|---|---------|----------|
| ① | A. 大きく  | B. 小さく   |
| ② | A. 大きく  | B. 小さく   |
| ③ | A. 多ければ | B. 少なければ |
| ④ | A. 大きく  | B. 小さく   |

設問 2. 一般的に非喫煙者に対する喫煙者の結腸がんによる死亡の相対危険度（死亡しやすさ）は、男女で大きな差がないことが知られている。それにもかかわらず、能動喫煙による結腸がん死亡の PAF は、男性 10.6、女性 0.7 と報告されており、男性が女性よりも大きい。この理由について考えられることを 30 字以内で述べなさい。

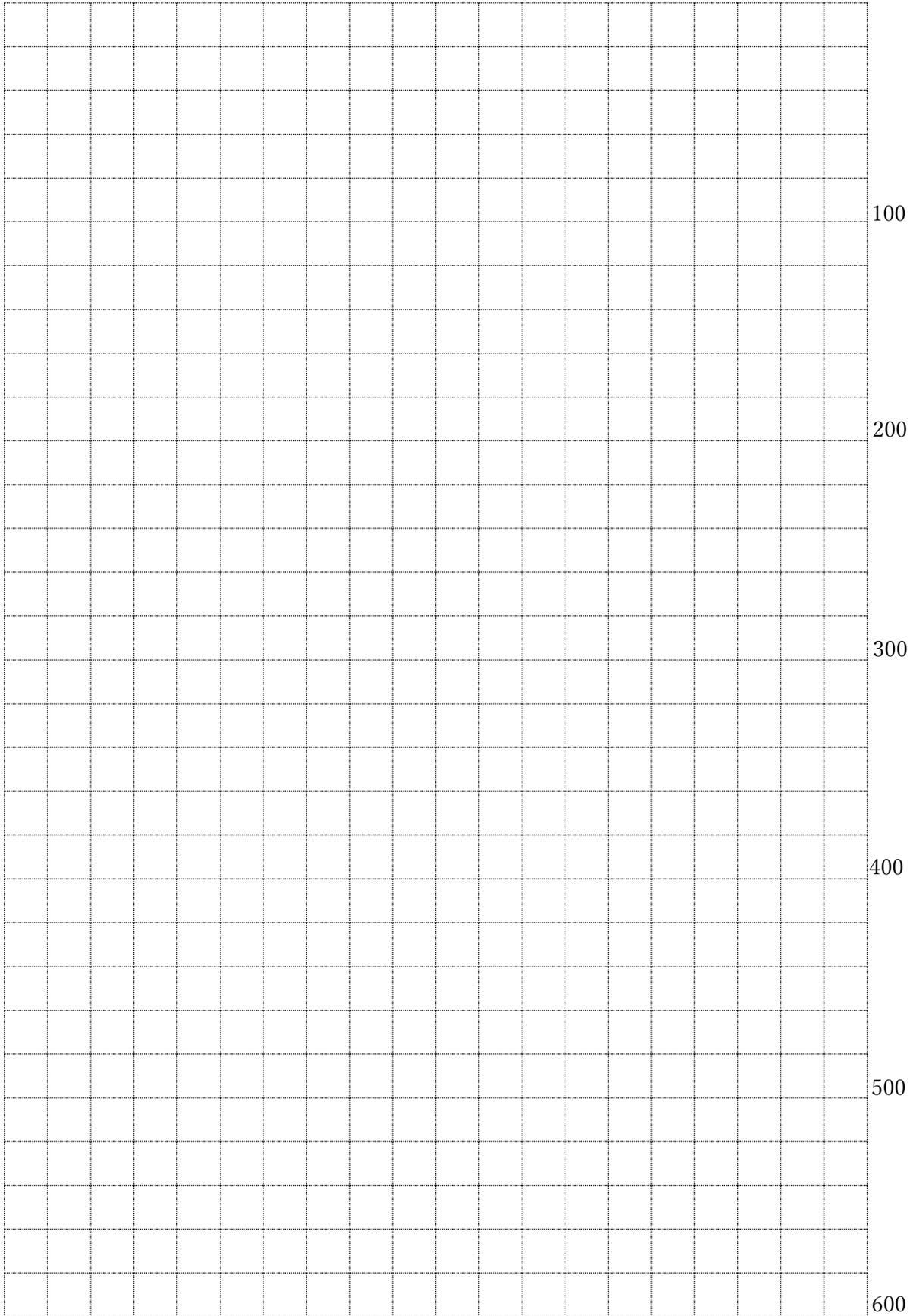
参考: Inoue M, Hirabayashi M, Abe SK, et al. Burden of cancer attributable to modifiable factors in Japan in 2015. *Glob Health Med.* 2022;4(1):26-36. doi:10.35772/ghm.2021.01037

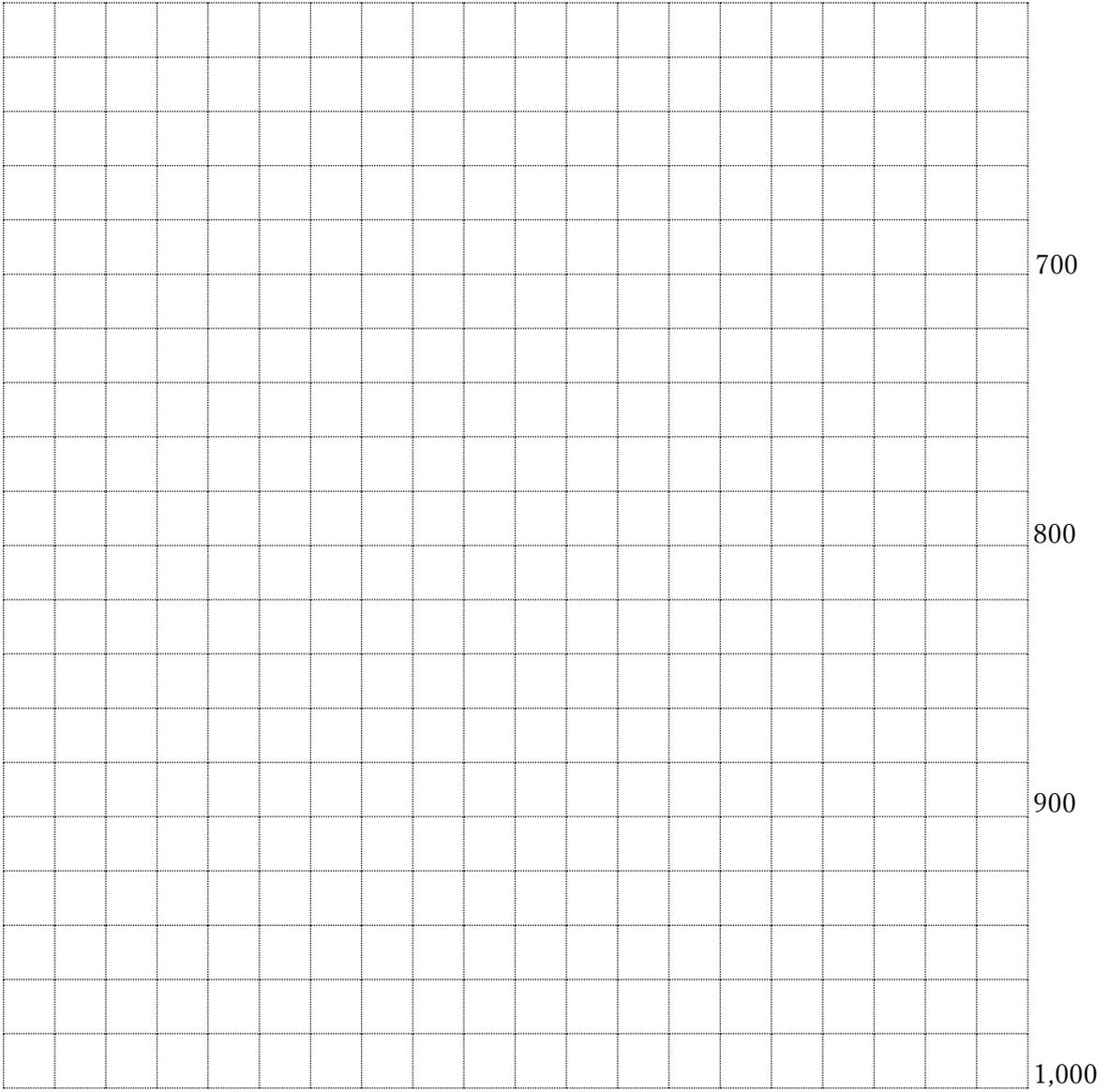
Table S2 (<https://www.globalhealthmedicine.com/site/supplementaldata.html?ID=42>)

設問 3. がん死亡の主要な要因である能動喫煙、感染、飲酒のなかから 1つだけ選び、その要因によるがん死亡を減らすために効果的と考える対策を理由とともに、800 字以上、1,000 字以内で述べなさい。



設問 3.





2024年度 聖路加国際大学 看護学部 一般選抜 B方式

## 小論文

### 【設問1】

①A ②B ③A ④A ⑤能動喫煙 ⑥感染 ⑦49.7 ⑧26.8

### 作題の意図

がんの発症や死亡の要因について考えることは、看護学を学ぶ上で重要なことである。また、がんの発症や死亡の対応を考えることで、アドミッションポリシーの「1. 人に対する関心や思いやりを持つことが出来る人」、「2. 人の悩みや苦しみを感じる事が出来る人」、「4. 看護を学ぶための基礎知識や技術及び態度を持つ人」、「6. 世界の人々の健康に関心のある人」、「7. 自律的、倫理的に行動できる人」を測ることに繋がると考えた。

加えて、図表と式を含めた問題の提示、600字以上の受験生の考えを問うことで、文章の読解や判断、論理的な思考が必要とされ、アドミッションポリシーの「5. 幅広く学問を探究し、科学的な探求心の旺盛ない人」を測ることに繋がると考えた。

以上

2024 年度 聖路加国際大学 看護学部 一般選抜 B 方式  
出典一覧

【小論文】

国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所予防関連プロジェクト. 日本人におけるがんの原因の寄与度推計: 2015 年時点のがん罹患・死亡に対する推計.

<https://epi.ncc.go.jp/paf/evaluation/9162.html>

Inoue M, Hirabayashi M, Abe SK, et al. Burden of cancer attributable to modifiable factors in Japan in 2015. *Glob Health Med.* 2022;4(1):26-36. doi:10.35772/ghm.2021.01037

Table S2 (<https://www.globalhealthmedicine.com/site/supplementaldata.html?ID=42>)